

黒川病院は 子供から高齢者まで すべての方のための 精神科病院です

病院理念

私たちは地域の方々に愛され、
安心して利用できる病院をめざします。

基本方針

1. 地域医療のニーズにこたえる
2. 温もりのある医療サービスを提供する
3. チーム医療の充実を図る

黒川病院で勤務させていただくようになってからかなりの年月が流れましたが、私自身女性ということで、日頃女性の患者さんの診療をすることが多いです。

女性は、月経周期や妊娠などによりホルモンの分泌の変動が激しく、女性をとりまく多彩なライフイベント（就職、結婚にまつわる事柄、出産など、生活環境に変化や影響をもたらす日常生活での出来事）のために精神的に支障をきたすことが多々あると言われています。そして近年、女性の社会進出も急速にみられるようになり、一人の女性が様々な役目を持ち大忙しの日々を送っています。



医師 小熊 千秋

このたびは月経にまつわる二つの精神不調を取り上げます。

女性であれば、月経前にイライラ・下腹部の不快感・腰痛・頭痛・むくみ等の症状に悩まされる方は少なくないと思います。これらの月経前の心身の不調について産婦人科領域で月経前症候群といわれていますが、精神科的には、過去一年間にほとんどの月経周期において 悲しくなる、自分はダメだと思う イライラする イライラや怒りで対人関係がぎくしゃくする 気分が不安定で涙もろい 興味の低下や人に会いたくない、関わりたくない 集中できない だるい、疲れやすい 食欲の変動 眠りすぎや不眠 コントロール不能な感覚 他の身体症状。以上のような症状が、月経前より出現し月経開始後急速に改善するという状態がみられ、いつも成立している社会的活動や他者との人間関係を著しく妨げているときは、効果が期待できる薬があります。

毎月女性に何らかの形で影響をおよぼす月経も45歳～55歳頃に終わります。この時期の様々な症状を産婦人科領域では更年期障害といいます。身体症状については、産婦人科はもちろん他科でも検査や治療を行ってもなかなか改善がみられない事があります。肩こりや首すじが緊張する、だるい・疲れやすい・ふらふらする・ふわふわする・のぼせる・ほてる等の身体症状の他に、いつもは家族より早く起きて家事をしていたのにできない、午前中にやっていた家事ができない、献立が決まらない、味付けが変わった、買い物や化粧が面倒、服装を決められない、人に会いたくない、家事ができない事を自分で責める等の症状がある時は気分障害の可能性もあるので、ぜひご相談ください。

月経にまつわる精神的不調は、日常の生活を見つめなおし、更年期においてはそれまでの生き方や自分の考え方等を再考する良いチャンスと考え、また家庭の皆さん、特に配偶者の皆さんにも症状を理解していただき、一緒に症状改善へむけて協力していただければと思います。

以上、簡単ですが、この記事を見てこれまで精神科受診にふみきれなかった方の受診の契機となれば幸いです。

ご紹介

平成22年5月21日より、新部署の地域生活支援課が誕生いたしました。その地域生活支援課をご紹介します。

こんにちは、地域生活支援課長の花田と申します。

当部署は、平成22年5月21日に誕生したばかりの部署です。

スタッフは、看護師3名・精神保健福祉士3名・作業療法士1名の計7名で構成され、現在は精神科デイ・ケア、精神科訪問看護、地域連携を統括する部署として活動しております。

今後は、長期入院者の地域移行・定着支援を行う部署として機能も有するため、院内退院支援チームと協働しながら、共同住居（長期入院者の生活の場）において、デイ・ナイト・ケア、精神科訪問看護による支援を行い、精神障がい者が地域生活を継続していくための支援を展開していく予定となっております。

退院支援プログラムは6月から開始しており、看護師・薬剤師・精神保健福祉士・作業療法士・臨床心理士・管理栄養士の計12名のスタッフにより、10月初旬の退院に向けて活動しています。プログラム対象の精神障がい者数は15名となっております。

当然のように精神障がい者の支援は医療だけで行えるものではありません。保健・福祉・医療がそれぞれの役割を自覚しての支援が求められると考えます。この地域のお他機関が共同しての精神障がい者支援を実践していくために、微力ではありますがスタッフ一同頑張っていきたいと思っております。



病棟の紹介

日頃の病棟の様子や取り組みなどを紹介します。
今回は認知症B病棟（認知症治療病棟入院料1）です。

はじめまして、師長の近藤秋子です。

当病棟は血管性認知症、アルツハイマー型認知症、アルコール性認知症、精神疾患で認知症になった患者さんが入院している40床の病棟です。

長期入院で高齢化が進み、身体機能低下による転倒や食物摂取時の誤嚥などの防止に取り組んでいます。

認知症はもの忘れや所構わず歩きまわったり、他者とのトラブルになったりいろいろな症状があります。その症状の一つ一つには意味があることを理解し、その人にあった対応が必要です。その対応の仕方にバリデーション技法というものがあります。認知症は物の認知や新しい事を覚える事ができませんが、感情レベルは保たれています。その感情レベルで対応することがバリデーション技法です。認知症の人に寄り添い共感する姿勢で患者さんと関わり、生活のリズムを安定させ穏やかに過ごせるようにしています。また、患者さんの今までの生活史（センター方式）を取り入れながら、個々の患者さんにあった温もりのある看護を目指しています。治療を受けながら専従のOTのもとで作業療法、音楽療法、運動療法を受け、日々の生活に充実した時間を過ごしています。フィリピン人のマリア、クリスもスタッフの一員です。



師長 近藤 秋子



スタッフの皆さんです

現在、退院や施設入所を目標にしながら良い環境、良いケアの提供を目指して、職員一同頑張っていきたいと思っております。

お知らせ

銃刀法の一部改正(H21.12.4施行)に伴うお知らせ

このたびの改正から専門医の診断書の添付が義務化されました。

これまで更新時に添付する診断書は、医師であればどの科の医師に作成してもらってもよかったです。今改定後は精神科の専門医の診断書が必要となりました。当院でも診断書の作成を行っております。更新の時、申請を行う方は事前にお電話にて予約を取ってからご来院ください。

診断書作成にあたり必要なもの(ご持参いただくもの)

- ・身分証明書(運転免許証やパスポート)
- ・保険証
- ・診断書(様式は警察署にあります)
氏名・住所は書かないでください。医師が記載いたします。
- ・銃刀所持の許可証(更新の方)

料 金

- ・診察料2,700円、診断書料2,100円の合計4,800円となります。
診断に際し、検査が必要な場合もあります。(別料金)

保険証を提示していただきますが、保険適用外扱い(自費)でお支払いいただきますので、あらかじめご了承ください。

作業療法室よりお知らせ

現在、認知症A・B病棟では、認知症の進行や身体的疾患による合併症から下肢の筋力の低下や姿勢保持能力の低下がみられる方がいます。その方に対して、作業療法士が評価し、車椅子を提供しております。

今回は、下記の車椅子をご紹介します。



ティルト機構付き車椅子



モジュール型車椅子

ティルト機構付き車椅子は、体幹の支持力がない方に対し、椅子からのずれ落ちを防ぐ目的として使用しています。

モジュール型車椅子は、円背や傾きが強い方に対し、その方に合った座面や肘の高さを調整することができます。

認知症疾患医療センターからのお知らせ (黒川病院内)

認知症疾患医療センターでは、認知症の疑いやそれに伴う様々な問題について、医療相談に応じます。治療・診断のみならず、必要に応じ、医療・保健・福祉の関係機関と連携し、認知症の方々が安心して地域で生活できるよう助言・指導を行います。経過とともに変化しつつある行動・心理症状への対応についても助言・指導を行ないます。

また、認知症の予防・早期発見のため、地域・住民の方々や関係機関向けの研修会も開催しています。

こういう事が1つでも当てはまったら、早めにご相談ください

同じ事を何度も繰り返し聞いたり話すようになってきた
最近物忘れ(財布のしまい忘れ等)が目立ってきた
日常の簡単なことができなくなってきた
自分の家やトイレがわからなくなってきた
人柄がかわってきた

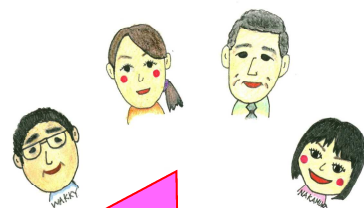
これらの症状は認知症でよくみられますが、それ以外の病気(頭部外傷、うつ病など)でも出る場合がありますので、正確な診断が必要です。

専用電話がございますので、お気軽にお問い合わせください。

月曜～金曜 午前9:00から午後5:00まで

専用電話

0254-47-2640



相談受付

～病院のご案内～

診療科：精神科 内科 歯科

診療日：月曜～金曜日(土日祝祭日は休診いたします)

ただし、再来の方のみ第1、第3土曜日午前診療を行います。

受付時間：午前8時30分から11時まで

診療時間：午前9時から(診療は午前のみとなります)

もの忘れ、児童外来を受け付けています。

外来診療は予約制です。

初めての方の予約は午前9時から16時まで受け付けております。

初めての方(精神科)の予約に関して、医療に関する事や年金、制度の件でお困りの事がございましたら、相談員が受け付けております。

0254-47-2422 まで

事務からのお願い

月に1度、保険証を窓口へ
お見せください。

- ・健康保険証
- ・後期高齢者医療被保険者証
- ・限度額認定証

変更がありましたらすぐに
ご連絡ください。

請求書は毎月15日前後に郵送
しておりますので月末まで
にお支払いください。

医療法人 白日会 黒川病院

〒959-2805

新潟県胎内市下館字大開1522番地

TEL0254-47-2422 FAX0254-47-3181

<http://www8.ocn.ne.jp/~k-hosp/>

作成:黒川病院 広報委員会

-編集後記-

先日、家族で津南にあるひまわり畑へ行ってきました。この暑さで、ひまわりもぐったりしていました。(+_+) 残暑に負けずにがんばろう!! (^)/ (H.W)